

領 域	比較的理解されている内容	比較的理解が劣っている内容																
Ⅱ 書	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">46年と51年の正答率の比較による変動の傾向</td> </tr> <tr> <td>両者 90 台であるもの</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>46年 80 台で 51 年 90 台になったもの</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>両者 80 台であるもの</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>46年 70 台で 51 年 80 台になったもの</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>46年 80 台で 51 年 70 台になったもの</td> <td>1</td> </tr> </table>	46年と51年の正答率の比較による変動の傾向		両者 90 台であるもの	2	46年 80 台で 51 年 90 台になったもの	3	両者 80 台であるもの	3	46年 70 台で 51 年 80 台になったもの	1	46年 80 台で 51 年 70 台になったもの	1					
	46年と51年の正答率の比較による変動の傾向																	
両者 90 台であるもの	2																	
46年 80 台で 51 年 90 台になったもの	3																	
両者 80 台であるもの	3																	
46年 70 台で 51 年 80 台になったもの	1																	
46年 80 台で 51 年 70 台になったもの	1																	
3 文・文章	<p>1. 文・文章を書くことについては差異はなく、伸びもしないが、落ちもしないという状況であることは、次の数字が示している。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">有意差のあらわれた問題数</td> </tr> <tr> <td>向上の方向であらわれている</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>下降の方向であらわれている</td> <td>3</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">有意差のあらわれていない問題数</td> </tr> <tr> <td>正答率が高くなっている</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>正答率が低くなっている</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>2. 特に向上しているものを「ねらい」別に見ると次の通りである。 (1) 文を続けて文章をつくる。 ・㊦の三</p>	有意差のあらわれた問題数		向上の方向であらわれている	3	下降の方向であらわれている	3	有意差のあらわれていない問題数		正答率が高くなっている	4	正答率が低くなっている	4	<p>1. 特に下降しているものを「ねらい」別に見ると次の通りである。 (1) 文章の中で接続語、指示語を正しく使う。 ・しかし (㊦の一の1) ・そこで (㊦の一の1)</p> <p>2. 下降しているもので、正答率も低いものは次の一つである。 ・要旨の明確な文章を書く (㊦の五の3)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">向上も下降もしていないが正答率の低いのは</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・文章の中で接続語、指示語を正しく使う。(㊦の一の2)</td> </tr> </table>	向上も下降もしていないが正答率の低いのは		・文章の中で接続語、指示語を正しく使う。(㊦の一の2)	
有意差のあらわれた問題数																		
向上の方向であらわれている	3																	
下降の方向であらわれている	3																	
有意差のあらわれていない問題数																		
正答率が高くなっている	4																	
正答率が低くなっている	4																	
向上も下降もしていないが正答率の低いのは																		
・文章の中で接続語、指示語を正しく使う。(㊦の一の2)																		
く																		